



ORBITAL ORBIT.

オービタル・オービット

朽techS - 2019

Mature Content

灰から星々へ、
虚偽から魂へ、
まわれ窪みと孔のまわりを
よき者を殺し、若きを喰らう
永遠に、とこしえに
あなたとわたしは滅ぶことなく
——グレッグ・ベア『鏖戦』



04～ Satellite Orbit

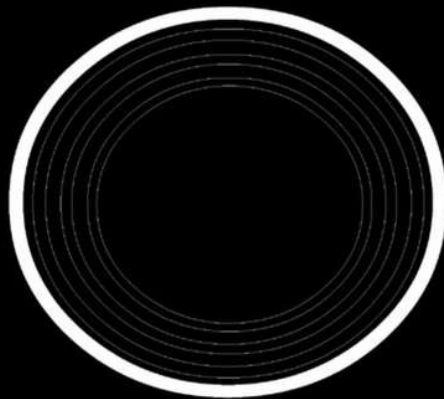
08～ Rubedosphere

14～ Sapphirosphere

20～ Obituary Layer

彼女に会ったとたん、彼女のことを全部わかったような気持ちになるが、
わかったと思っていることはどれも間違いだ
——ニール・ゲイマン『ストレンジ・リトル・ガールズ』

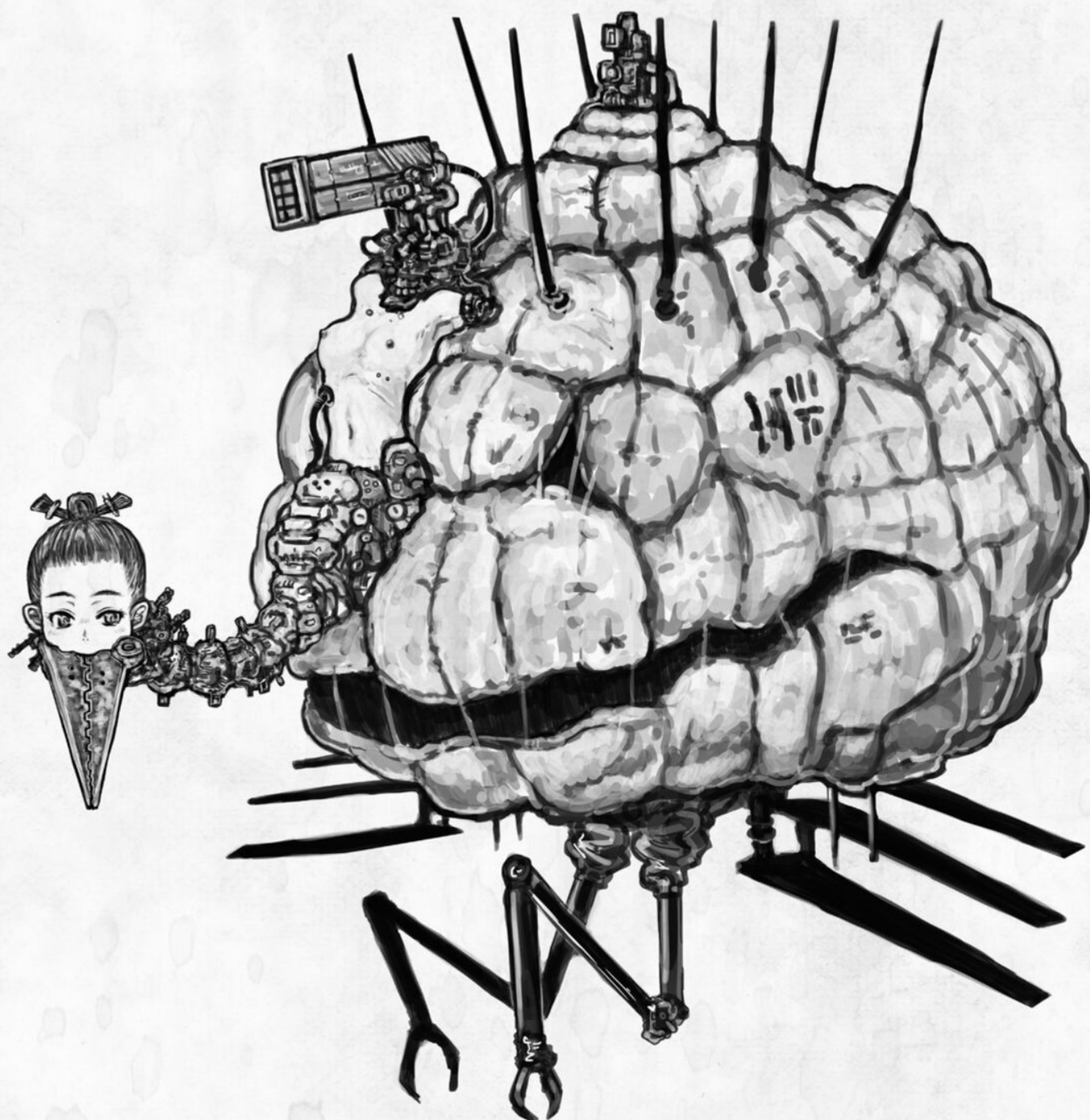
Satellite Orbit



Invited Engineer's Works

- ・ redscardog 『アプサラスの浮遊する脾臓』
- ・ ねこたろう 『ジル・オー・ランタン』
- ・ 芋羊羹 『角交じりの遊び貢繰り』







真紅の色——波打つ熱狂の旗は爾来、その信奉者たちの胸うちだけで、ひそやかにはためくことになった。

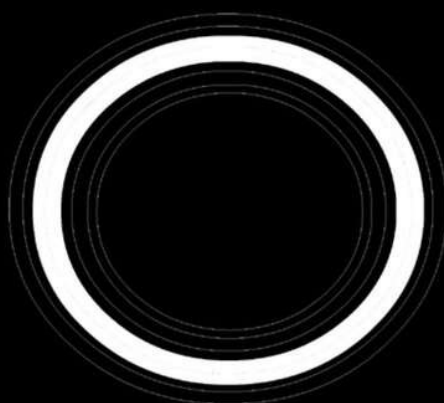
もっとも造物主といえど、その色を自然から締め出すまでにはいかなかった。

そもそも太陽の光そのものが、潜在的にこの色を含んでいる。

春の陽光の中にいて目をつぶりさえすればよい、たちまちその色が瞼の陰に波立ち波打つのが見られる

——ブルーノ・シュルツ『春』

Rubedosphere



◎造られざる深紅

◎クレプシドラの棄却者

◎あなたの昼より眩い夜

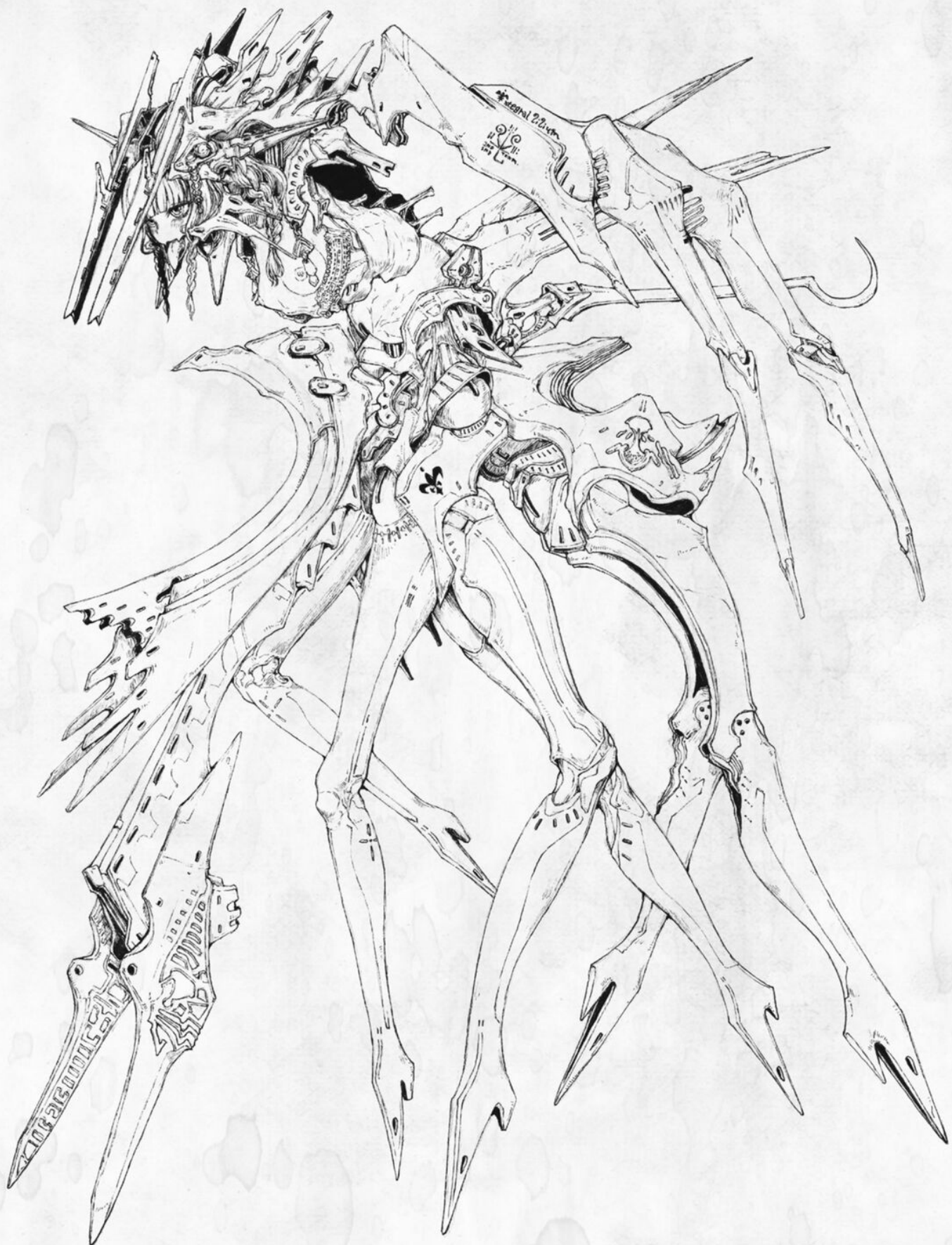
◎灰の口づけ

ブルーグラット

月を実効支配してた青治機構だが、環月の各勢力が締結した「エンディミオン・プロトコル」によって徐々にその力を減じていたのはご存知の通り。だが、最終的にアナ・ブルーノート長官の暗殺で月面の施設が解放されるに至るまでの実際の過程、解体の終盤何者がどこでどういった働きをしていた、といった情報はあまり公開されていない。何故か？
コルヴォー・アヴァンティルやアイケイシャ・シュライエルがそれについて書かないのは“真円”に配慮してるからさ。
汚い仕事であちこち介入しまくってたことなら単にお互い様だが、この件で一番動いてた奴について触れたくないんだ。

キーバーソンはこいつ、カヤ・ブルーフォード。タラルの西第三区生まれ、12歳で“静かの海”複合体に留学、その後19歳で地球に戻り、青治機構の出張工廠の若き責任者になった女だ。顔は知ってるだろ、別の名前で有名だ。そう、その出張工廠の名前はMIBV。叛逆公社ブルー・ヴルネラブルの代表ムッター・マテルとしてよく知られている。だがどちらともこの女の本名じゃあない。知られざる名前のない戦い、これを俺は「最も青い紛争」と呼んでる。

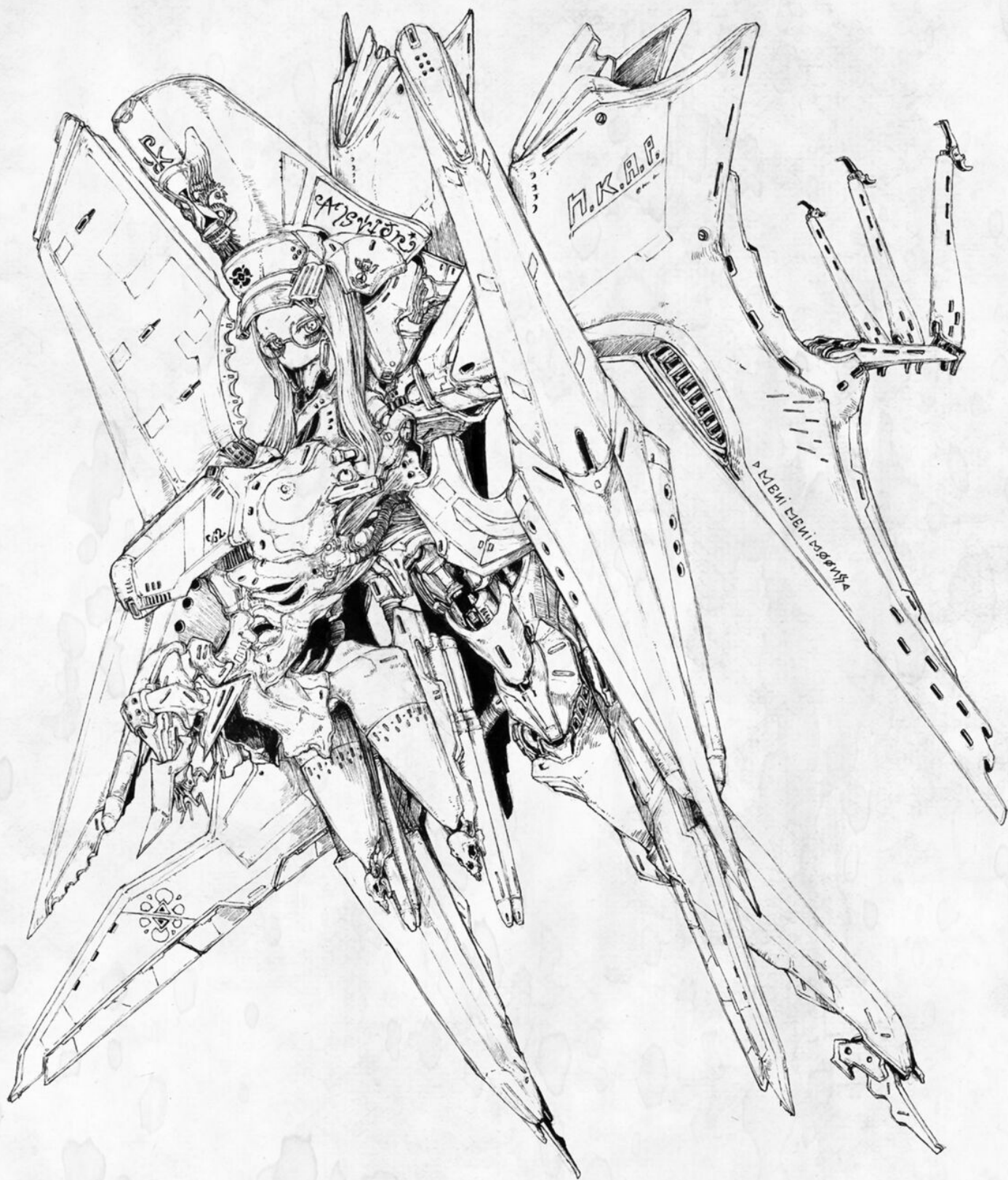
——屍史補完者、ヤック・ハイアミオウ



エンディミオン・アストラル

あの襲撃の全貌なんて誰にも分からないよ。裏睡月幽鬼隊の〈キグルミ〉どもが協定を破って攻撃してきたと思ったら、ウチのに似た特徴のある、でも見たこともない型のネクロテック達がゲートをこじ開けて突入してきたんだ。一番不思議なのは、あの部隊がいくつもある長官専用のセキュリティをあまりにも容易に突破していったことね。

——元アズールガード屍揮主任、ボースレイン・ヴィックス



共和国の敗戦と解体に伴って全領土がクヴェレと新カジエラに割譲された際、残ったネクロテックは全部カジエラ側に押し付けられたんです。クヴェレはマルグの魔女の国ですし、建国の経緯からも屍者利用を禁じてますからね。とはいえ当時はまだカジエラ軍だって屍者を配備に組み込んでいなかったんで、民生機に転用できるものは転用、残りは解体と“火葬”になったのがほとんどでした。戦力が薄かった空軍だけが積極的に空戦ネクロテックの再利用に取り組み、領空警備の隙間を埋めるウォッチバードとして運用しました。残念ながらその後の技術の進歩は凄まじく、あっという間に共和国の機体は時代遅れとなってしまいましたが……それでも、改修を繰り返して今でも一線で稼働する機体もあります。そう、あの頃あなたがお調べの青の工廠は難しい“再近代化改修”を多く請け負ってくれていましたね。

——砂時計戦争博物館学芸員、ヨイトーマ・クラヴァンス





我々はアナ・ブルーノートの他を顧みない体制を破壊するべく離反しました。青のネクロテックの技術を提供可能です。

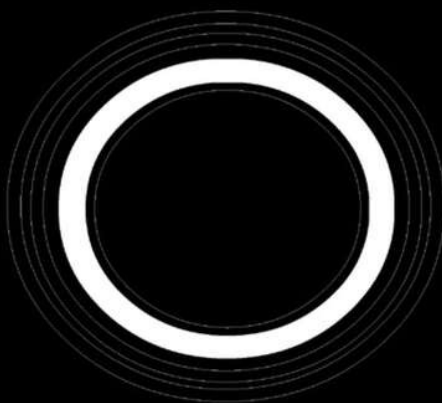
——ムッター・マテルから骸閥仲介役へ、オブ・Vへの取り次ぎを要求した際の言葉

きみにしか頼めない、とブルーノート主任は言いました。失礼、どうしても古巣にいたときの呼び方を。地球に降りて以来、LMF 技術者とタラールの役人の折衝が私の仕事だったので、私を後見人にしてカヤの戸籍を作製するのは簡単なことでした。先進的な通信設備一式、それと恐らくは主任自身の大量の蔵書と一緒に“貨物”として漿の塔を降りて来たとき、カヤはまだ2歳やそこらに見えました。ええ、詳しいことは何も。私は制度上の手続きと最初の迎えだけで、その後の生活の準備や世話は後からやって来た怪しげな半屍者、それからケレスの羅利崩れのプロツキにしか見えない男女が。私は時々顔を見に行っていただけです。単に、主任がいつの間にか作った娘なんだなと思っていました、ムッター・マテルになって、再会するまでは。

——元煥テックス、ノエイン・ハールマン

私を鎖で縛りつけた
お前の両眼、その最も^{bluest} 青い^{light} 光の迷路に
——Novembre, Bluecracy

Sapphirosphere



◎無色彩の踊り子

◎ 銀沙の月狼

◎最も蒼き魔女鉄

◎サンギン・スウィーツ

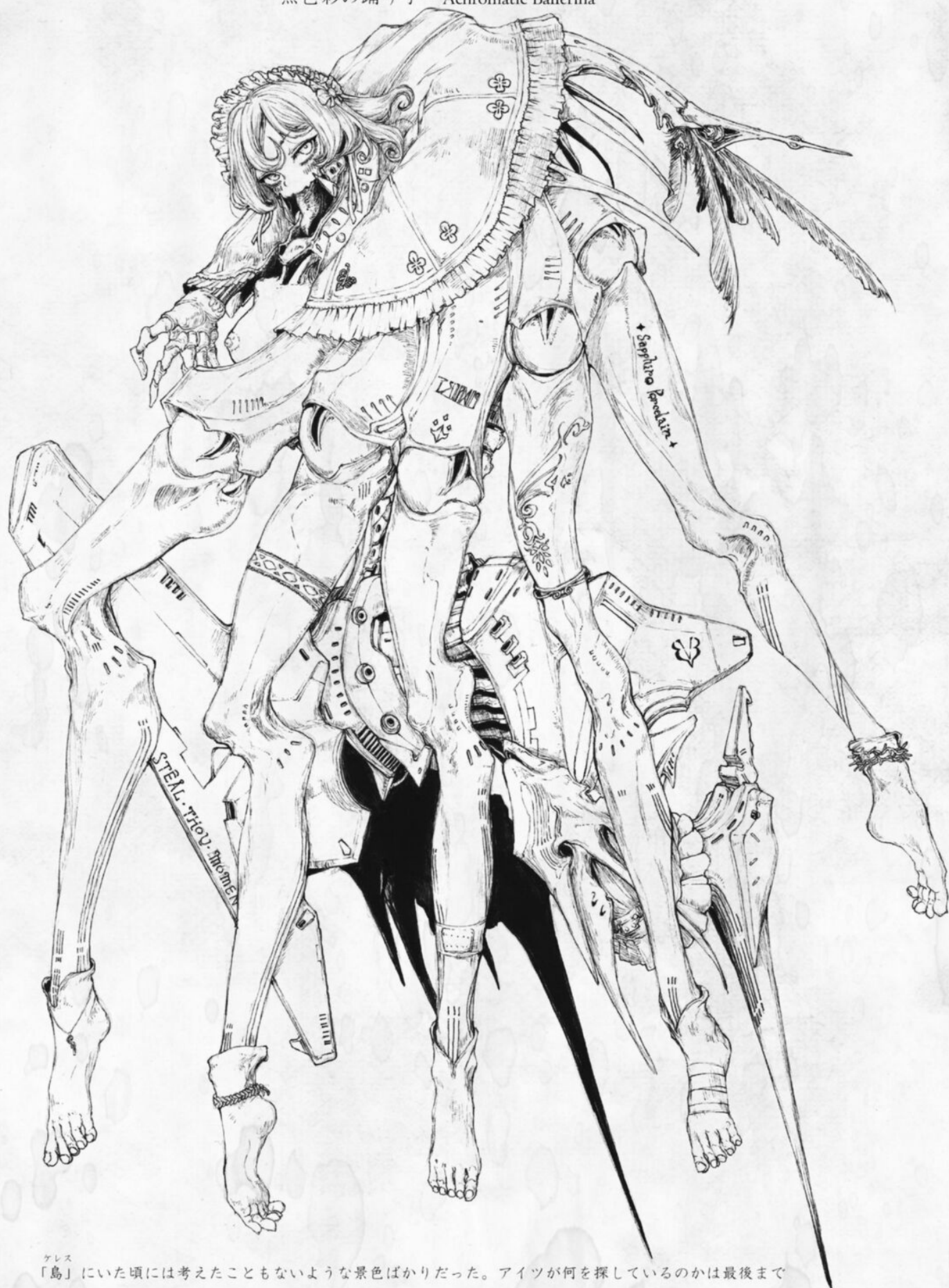


ブルー・ヴルネラブルは、タラールにあった青治機構の資産丸ごと独立したので、最初から生産力は十分でした。
ただ、真円や火星からどんどん受注を受けてはいましたが、あくまでも OEM のみだったことには当時から疑問の声がありました。最初の声明以降数年にわたってムッター・マテルの所在が不明であったと判明したのは、月が解放され機構も公社も解散された後のことで、まるで予想だにしなかったところからの証言によるものです。

——屍者学者、ミランダ・ペリシャ

ここに来る前にも、シャイツェン・コリダーや女王代行領、それに蜚尤コミュニオンにまで足を延ばしていたみたい。
まあわたしのところが最後になるのは当然なんだけど。すでに自分のネクロテック・エンジニアリングを確立してはいたけど、足りないのは技術的なものではないと彼女は言っていた、青より青いブルーになる物語の結末を探していると。
「宿命とはどこかに書かれているスクリプトではなく、自分で繋ぎ色を与えた線が象る絵でしかないのよ」
そう伝えたの。それこそが、わたしがデラモルテに出会ってやったきたことだから。
きっと最初からそれが分かっていたね。

——カロンの“大天使”、リリウム・アルゲントゥム



ケレス

「島」にいた頃には考えたこともないような景色ばかりだった。アイツが何を探しているのかは最後まで分かってやれなかったが、別に分かって欲しいなんて思ったこともないだろう。“ドゥーブルヴェ”に喧嘩を吹っ掛けたときは凄かったよ、あの一晩だけで一体どれだけの屍者をバラしたか。アイツはずっと年下だったけど、アイツの常に次の場所を視ている蒼い瞳にいつだって引きずられてたのさ、俺もイーリも。

——羅刹の用心棒、“千の針” イェン・スイリイ





考え得る限り最も適切な刃物。

刀身は二本、ひとつは明日のため、ひとつは今日だけのため。

——叛逆公社 CEO、ムッター・マテル



ネクロテック生産の中心はとっくに環月に移ってるし、当時からの“マスター”も殆どくたばって一掃された今、共和国にこだわる必要があるのか？それに俺は“デラモルテ”ではないからね。いや、本当のところはどうだろうね？兎に角、同じだけど同じではないからこそこうするのさ。本人とも話したが、それがミズ・ブルーフォードと俺の共通点だよ。

—— 借称のマスター・ネクロテック、フランシス・デラモア

そう、結局は後継者問題だったんだ。でも自分を複製したって、やっぱり思い通りにはいかないのが世の常だよな。カヤ・ブルーフォード、ムッター・マテル、本当の名前はアニエス・ブルーノート。アナの遺伝予的には同一の娘。襲撃にエンディミオン・アストラルも参加してることから分かるように、“真円”含む主要勢力みんなが関わってる。うすうす分かってきただろ、彼女ならバイオメトリクス認証を突破して中枢に入り込めるし、青のネクロテックの特性も全部理解している。だが“塔”の理事会も真円も、限定的なもの以外あらゆるクローニングを禁忌化してる。月の賊如きがそれを作成したことも許せないし、それに頼ったことも明かせない、そういうわけさ。

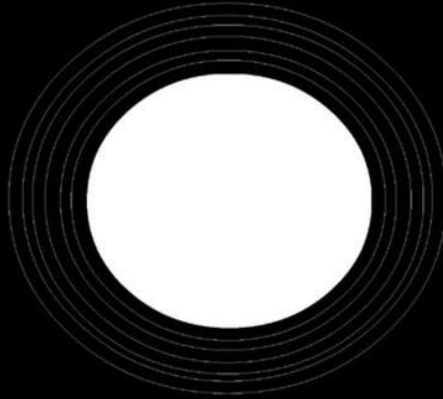
——屍史補完者、ヤック・ハイアミオウ

イェンがあの子を連れてきたんだ、俺の恩人だから望む変容を与えて欲しいって。恩人？ただの小娘じゃないか。だがイェンだっていい加減なことを言う外、鬼^{ワイグッイ}ではないからね。星の心臓として永く籠ってると、お前達がどれだけ若く幼いまま何かをやって死んでいくか、忘れてしまう。あの子が望んだのは青よりも青い瞳さ。可視光でも十分分かるが、^{カーノマンシー}魔術で“あらゆる種類で”青くしたから、どんな視覚の種族が見たって一番青いよ。

——羅利の高祖、“食り喰らうもの”ベアトリス

すべて大丈夫
わたしたちが回転し続けている限りは
——Thom Yorke, *Suspirium*

Obituary Layer



◎デラモルテの殲滅者

◎ 自動的な夏

◎血風拍子

◎無垢掃いの巡礼母

◎完遂された深紅



これは憎しみだと思っている？人生を弄ばれたことへの怒りだと？そんな風に思われるのだけは我慢がならないな。
条件の設定に牙を剥いてどうなるの、そんなものを自分のさだめと信じるのは惨めだし、筋が通らないの。
あなたは厳密に定義すれば親ですらない、でもこの血も肉も精神もあなたが与えてくれたこと、それは事実。
そして私はあなただから、このネクロテックを作ることができて、ここまでの門はみんな簡単に開いたわ。
何故あなたが私を作ったかなんてどうでもいい、あなたの信奉者が後でいくらでもおとぎ話を作ってくれるでしょう。
何故私がこれをするのか？もちろん必要だからよ。あなたの方こそが私の物語の一部になるように語ることが。
そしてこれは……分かるでしょう、キーとなるエピソードなの。

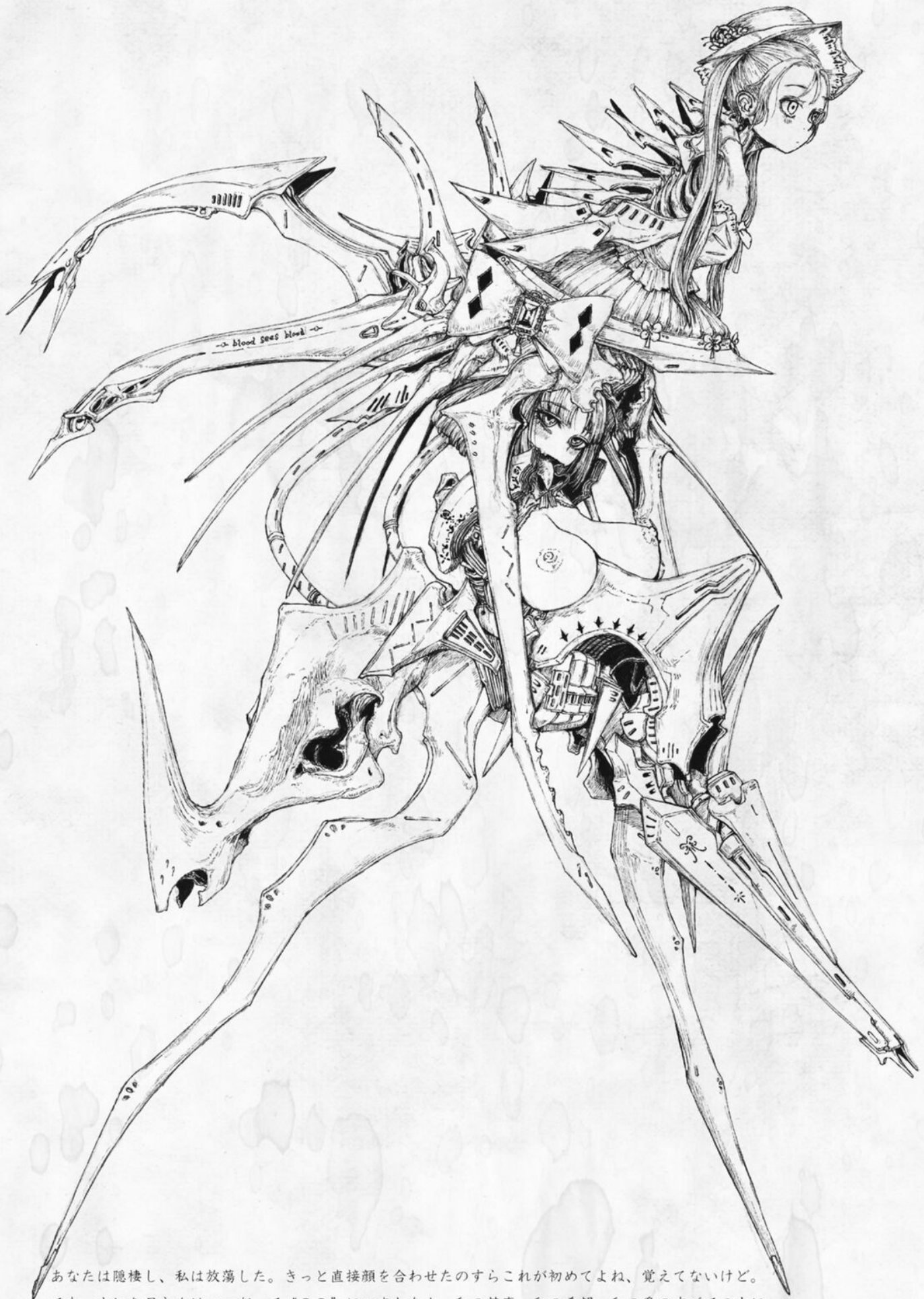
——三相の娘、アニエス・ブルーノート



あの娘が自分で考えた筋書きよ、でも実際、それ以外どんなケリの付け方があるの？

タラールに降ろした始まりから、全部そのつもりだと思っていた、でもブルーノート長官は最後本気で取り乱していたの。

——青の半屍者、“中継局”イーリ・クォーツナ



あなたは隠棲し、私は放蕩した。きっと直接顔を合わせたのすらこれが初めてよね、覚えてないけど。
でも、大切な母さんはいつだって“ここ”にいましたよ、私の苦痛、私の希望、私の愛のすべての中に。

——アニエス・ブルーノートからアナ・ブルーノートへ



きっと今は、ネクロテックも月も関係ない場所で、主任とは全然違うことを
やってるんだと思います。子であることを引き受けるとはそういうことでしょうか？

——“カヤ・ブルーフォード”の後见人、ノエイン・ハールマン





“でももし行くなら 時間があれば
オーロラに「輝き続けて」って伝えて
最近溺れてるように見えるから”
だから行ってきたの、時間もあったから
オーロラに「輝き続けて」って伝えたわ
そしたらあなたに返事だって
「溺れてるんじゃないよ、手を振ってるんだよ」

——Tori Amos, Amber Waves

あまりスペースがないので圧縮して書きますが、今回のテーマは「無（低）重力」ということで、球状の圏構造を念頭に置いて
本をまとめることとなりました。如何でしたでしょうか。あまり地に足を着けないでやっていくことを決めたら、
また新しいかたちが沢山生み出されました。スグく気持ち良かった（いつだって完成直後は気持ち良い）。

この度は長期にわたってラブを作り込んだので、途中で観て聴いた色んなものが練り込まれています。
いつだってネクロテックは無数の血脈を縫い合わせて造り上げた羅です、胸を開いて受け取ってください。
受け取ったあなたはあなたでポジティブなものを作り出してください。

そしてゲストの皆様！お忙しいなか辣腕を揮ってくださいました。
それぞれの独自の「色」がまたこの先、末々までネクロテックが往く道を照らしてくれるでしょう。

【掲載順】

redscandog 様 (@red87505775)

ねこたろう様 (@LOVEorCRAFT)

芋羊羹様 (@TTL_all)

参加いただき、心より感謝いたします。

病める月日を耐え、また来年もお会いしましょう。鴉りの地獄の季節より、愛を込めて。

——メグリム・ハルヨ

■Special Thanks■

・FANBOX 支援者の皆様

こうして本が出るのも皆様のお陰です。

・立体に取り組んでくださっている方々
この嬉しさは言葉では伝えきれません。

・妻へ

手首を大事に。

・甘粕試金様

大変お見苦しいところをお見せしてしまいましたが、本当に本当に助かりました。



※過去作アーカイヴス電子版はこちら <https://deadwelders.booth.pm/items/151352>

<https://deadwelders.booth.pm/items/759437>



ArtechS